

トヨカツの裏側

「トヨカツの裏側」は豊中市立市民公益活動支援センターをさらに詳しくご紹介するコーナーです



ショーウィンドー展示

エキスタとよなか*にあるショーウィンドーでは、市民活動団体のPR展示をしています。豊中駅北改札を出てすぐという好立地を活かし、多くの方の目に留まっています。展示は1か月交代で、1度に4団体の活動を紹介しています。ボランティア募集につながったり、活動を手伝いたいという方が出てきたりと市民活動の発展につながっています。

「親のぴあカフェdan-dan」の展示では、猫に模したスタッフや参加者が、お茶を飲みながらゆったりとくつろげるカフェでおしゃべりしている様子が、当日の雰囲気をよく出していて、しんどいお母さんたちの居場所になっていることが、やわらかな線で表現されていました。展示内容は毎月変わりますので、お近くにお越しの際は、ぜひ見に来てください。*旧市民活動情報サロン

トヨカツ Newsletter

主な事業紹介

どなたでも



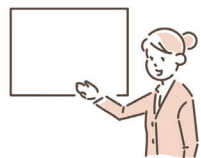
ちゃぶだい集会

日ごろ起る疑問や課題解決に向けたヒントなどをみんなで持ち寄り、わいわいと語り合う集いです。



トヨカツcinema

多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。昼の部、夜の部の2回上映。



ボランティア入門講座

これからボランティアを始める方、興味のある方に向けて、ボランティアの心得、活動が続けるコツや事例を紹介します。

これらのイベントに参加いただくとマチカネポイントが貯まります！

団体向け



おでかけ相談会

トヨカツを飛び出し、豊中市内各所にて団体運営に関する相談会を開催しています。



ピンポイント講座

会計や広報など、市民活動を行う上で役立つ情報を講座・セミナー形式でご紹介します。



マッチング交流会

公共施設で働く人と「協働」したい団体をつなぐ交流会です。市内各所で随時開催。



オンラインサポート

PCやアプリの使い方からSNS等の運用相談まで、市民活動のお手伝いをしています。

豊中市立市民公益活動支援センター

住所：豊中市庄内幸町4-29-1(庄内コラボセンター1階) [開館時間] 午前10時から午後7時まで
(阪急宝塚線・庄内駅より約800m) (水曜・金曜は午後9時まで)

TEL : 06-6398-9189

FAX : 06-6398-9209

MAIL : toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp



トヨカツのSNSもぜひチェックしてみてくださいね！



豊中市立市民公益活動支援センターニュースレター

TOYOKATSU

タネ |

| vol.9

tame

ボランティアデビューしてみませんか？



「60歳から始めるシニアボランティアマッチング会」を初めて開催しました。まずは、ベテランボランティアのお二人(田中さん、藤野さん)から、ご自身が活動を始めたきっかけややりがいなどを紹介いただきました。



その後、シニア世代を積極的に受け入れたいという8団体2事業者から熱いラブコールが送られ、会場が熱気に包まれました。この日参加された方々が、新たな一歩を踏み出せるようなきっかけになることを願っています。

tame (タネ)

豊中市立市民公益活動支援センターニュースレター vol.9

発行・編集：豊中市立市民公益活動支援センター(運営受託団体・特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク)
デザイン：86 design cafe 発行日：2024年9月

GROUP

団体紹介

市民公益活動支援センター「トヨカツ」を利用する団体を紹介します。
サポート事業を実施している団体もありますので、ぜひご覧ください。



親のぴあカフェ dan-dan

市主催の講座で出会ったメンバーが、生きづらさを抱えながら子育てしている親の居場所を作りたいという想いで始めました。まずは、自らのしんどさを手放せる場として、ぴあ(仲間)の関係で、親どうし互いに語り合い聴き合えるカフェを月一回実施しています。会のはじめに思いやりルールなどを共有し、共同体感覚を持って安全に話せるように心がけています。私たちの活動をとおして、誰もが孤立しない社会、安心して話ができ、思いを受けとめてもらえ、生きづらさを認め合える温かい社会になればと思います。

生きづらさ、しんどさはすぐに解決することはできませんが、『話す』⇒『離す』⇒『手放す』ために、ひとときいっしょにしませんか。お茶でも飲みながら・・・♡



特定非営利活動法人

豊中市民エネルギーの会



大阪府から「太陽光発電所を設置しませんか?」と声がかかったのをきっかけに、再生可能エネルギーの普及を目的に団体を立ち上げました。環境問題に関する講座「地球があぶない!」の開催、温暖化防止だけでなく災害時にも役立つ「じぶん発電所」の普及に取り組んでいます。この他にも広報誌「SUNSUN通信」による情報発信も行っております。また、今年から豊中市伊丹市クリーンランドで発電した電力の一部が両市の公共施設へ供給されるようになり、エネルギーの地産地消の動きも始まっています。私たちは、日本国内にある資源を使ってエネルギーをつくり、国内にある物で生きていける社会をめざしています。興味のある方は、ぜひ活動に参加してください。

Q & A スタッフに聞いてみた

お題: 雨の日の過ごし方

鈴木

雨の音を聞きながら、二度寝する。

ゲームをしながら本を読む

小池

富安

いつもよりゆっくり起きて、近所のレストランでひとりランチ

キッチンにこもっているかも。ちょっと手の込んだお料理とか保存食作ったり、気が向けば、換気扇、お風呂場の掃除したり・・・

嵯峨

大坂

ひたすらだらだらしながら、雨が上がったらずることを考える。

スマホ片手にだらだら&ペットのインコと遊ぶ。(気が向いたら)部屋の片づけ・・・

森島

上村

お気に入りの傘をさして「歩くこと」を楽しむ

音楽聴きながら一日中塗り絵してました・・・
何もしたくない、考えたくない時に、こういう過ごし方をします。

野邊

トヨカツ 事業紹介



市民活動サポート事業



豊 中市の市民公益活動団体情報に登録いただくと、活動のPRや団体の自立的発展につなげるためのお試し講座やイベントを実施することができます。この事業は、市民活動を始めようと思ったときに課題となる、企画・運営や、開催場所の確保、広報活動などをトヨカツがフォローしています。

団体のみなさんは、活動の目的や解決したい社会的課題に向けて、さまざまな内容や手法で取り組まれています。講師による講義形式や、ワークショップ形式で実際に作品づくりをされることもあります。ときに参加者の楽しそうな声が響き、ときに熱心にメモをとられる姿があり、熱い議論が交わされることも!今回いくつかの団体に取材させてもらったなかでは、つくった作品を嬉しそうにみせてくださったり、参加後学んだ内容を話してくださる参加者の姿がありました。



毎日のように実施される市民活動サポート事業は、日々のトヨカツを彩っています。今後のサポート事業の予定につきましては、市民公益活動支援センターホームページや各種SNSにてお知らせしています。団体の皆さんの活動を広める場として、また、ご参加いただく市民のみなさんには新たな学びや出会いにつながる場として、これからもご利用・ご参加いただければと思います。

